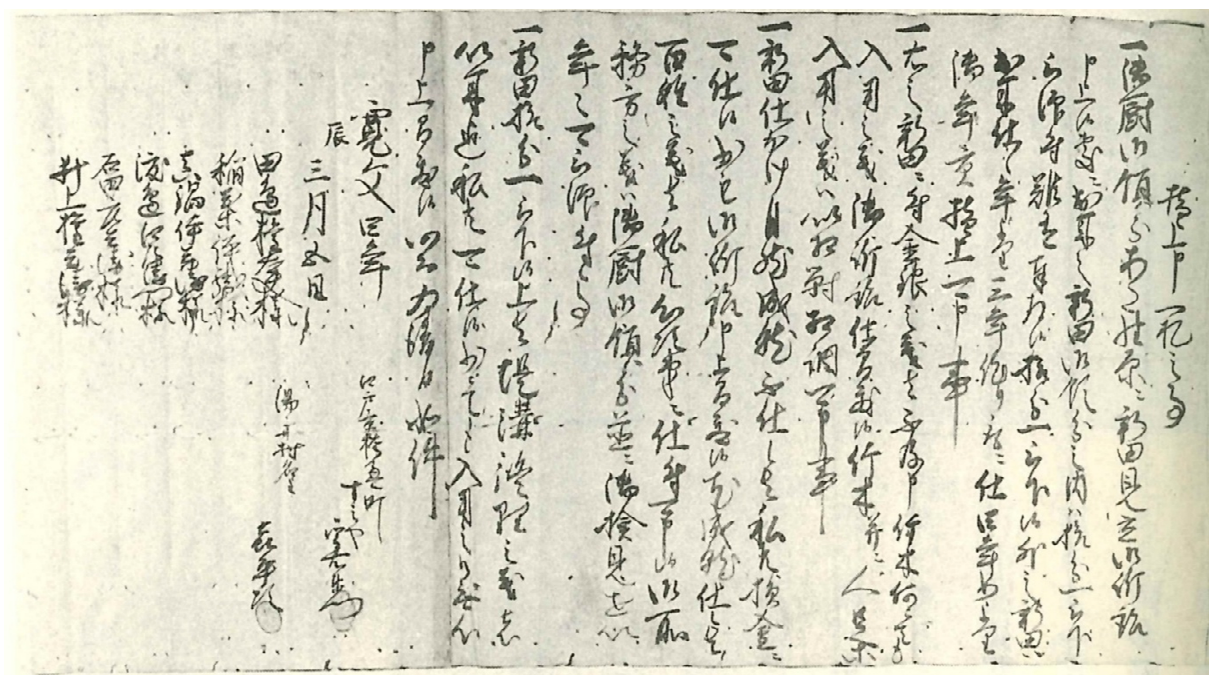


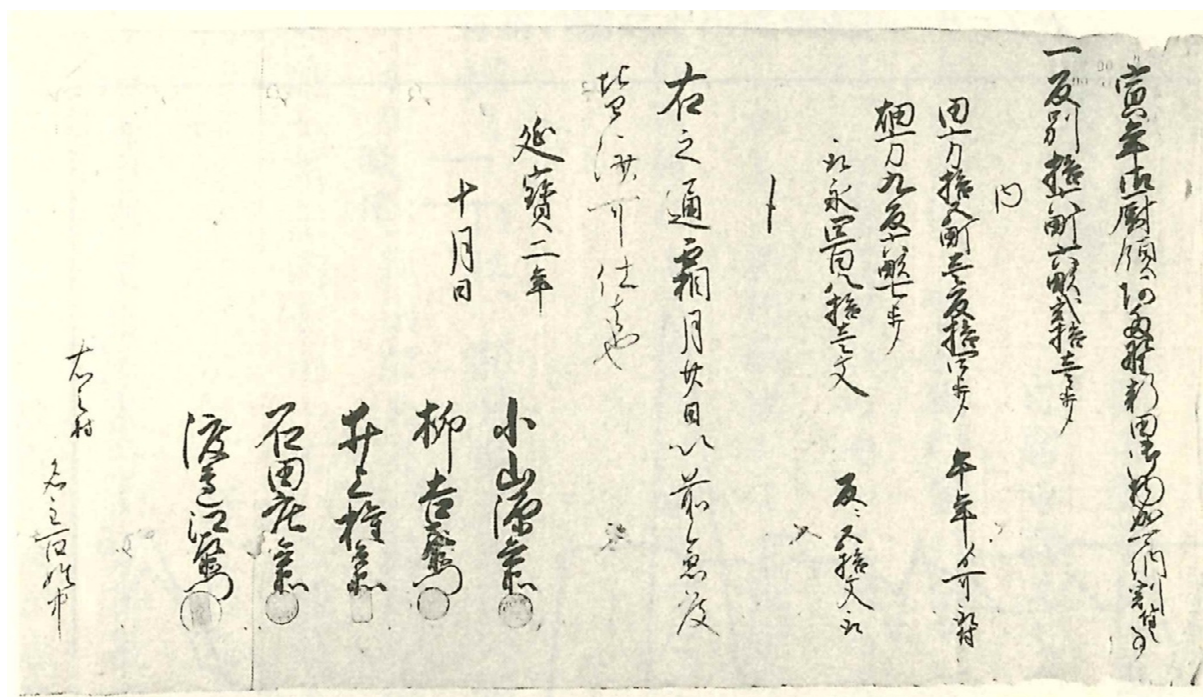
第2節 古文書



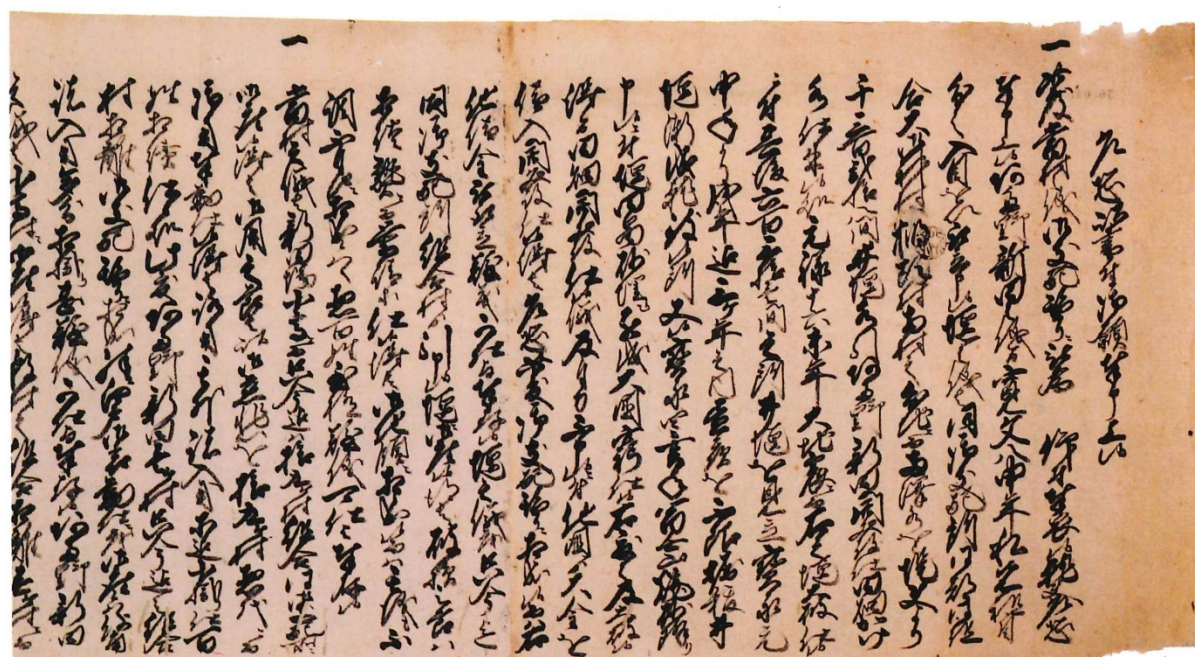
図資-1 宇右衛門、喜平次兩人による一札（『小山町史』第7巻 p. 89）



図資-2 石屋善左衛門、湯船村市左衛門兩人による一札（『小山町史』第7巻 p. 90）



図資-3 阿多野新田の年貢割付状（延宝2年）（『小山町史』第7巻 p. 97）



図資-4 荏山代官所あて阿多野新田名主願書（安永7年）阿多野 喜多淳隆氏蔵（『小山町史』第2巻）

1704

1705

申の4月より酉の4月 19日迄堤諸事入用小目録

支払時期		支 払 額	支 払 内 容
申の4月		錢 616 文	大工甚五兵衛に遣わす 磁石代とともに
		錢 100 文	燈油代 3合
		錢 100 文	土引車 4つ
10月		金 1 分	鶴のはし 2挺 吉久保 四郎兵衛作
11月		錢 132 文	土引車 4つ
		錢 164 文	釘代 10月8日付落
11月10日		錢 100 文	酒 1 升 須川穴口水出しにつき持参
11月23日		金 2 分	穴堀勘兵衛に渡す
極月	3日	金 2 分	吉久保鍛冶へ作料内上に渡す
	23日	金 1 両 1 分 錢 68 文	穴堀久四郎に渡す
		金 2 分	穴堀勘兵衛に渡す
	27日	錢 352 文	釘代 須川穴水よけ入用
		錢 1 貫 150 文	酒代 羽舞場弥五左衛門払 須川穴入用
		金 1 分 2 朱	穴堀七兵衛に渡す
		錢 426 文	酒 5 升代 須川入用 但し 82 文かへ 谷戸 源太殿払
		錢 200 文	土引箱拵料 まく下太郎兵衛に渡す
		錢 200 文	須川穴水より拵代 はまいば弥五右衛門に渡す
		錢 2 貫 228 文	酒代 下原関右衛門に渡す 須川穴入用
		錢 6 文	燈心の代
酉3月8日		錢 16 文	薪 1 束 須川穴掘り持参
		錢 12 文	車の眞木代 夫 阿多野吉兵衛
		錢 116 文	正月 11 日付落 酒 1 升 番神堂へお酒
4月1日		金 1 両	穴堀久四郎内上げに渡す
		錢 150 文	須寿竹 2 丸
4月3日		錢 38 文	燈心 1 把
		金 1 両	燈油の代 御殿沼津や源三郎に渡す 但し酉の正月より3月1日まで3度に渡す
		米 4 斗 7 升	穴堀久四郎飯米代 但し申ノ 11 月 6 日より極月 22 日まで 日数 47 日分 1 日に黒米 1 升平均に〆
		米 2 斗 2 升	穴堀七兵衛飯米 但し申 12 月 1 日より 23 日 迄
		米 7 斗 8 升	穴堀久四郎飯米
		右 3 口 〆 米 1 石 4 斗 7 升 俵に 〆 3 俵 2 斗 7 升 此代金 1 両 3 分 錢 883 文 但し酉に 19 俵かしに 〆	
申の年の分		金 1 両 1 分と 錢 900 文	土引六兵衛給金渡し仕着共 但し飯米代は了簡有之候故かけ申さず
酉4月		金 1 両 2 朱	彦左衛門給金内渡しに遣わす
丙4月19日		金 2 朱	吉久保四郎兵衛作料打上げに渡す

右之通相違無候 以上
(宝永2年) 酉4月

岩田三郎兵衛

森 強右衛門 殿
喜多善兵衛 殿

図資-5 申の4月より酉の4月 19日迄堤諸事入用小目録 (喜多家)

¹⁷⁰⁶
 丙の壹番目録

支払時期	支 払 額	支 払 内 容
申の4月	616 文	大工甚五兵衛に渡す 但しじしゃく代とも
	100 文	油3合 下原仁右衛門方にて調え
	100 文	車4つ 右同断
10月	金1分	鶴のはし 2挺 吉久保打
11月	132 文	車4つ 竈にて拵
	164 文	釘の代
11月10日	100 文	酒1升 樋口水出に遣し
	金2分	阿多野勘兵衛に渡す
12月12日	金2分	吉久保かぢに渡す 書遣し小目録有
12月23日	金1両1分錢68文	かね掘久四郎賃金
	金1両2朱錢200文	かね掘七兵衛賃金
12月27日	352 文	釘代に拂
極月拂	1貫150文	酒代拂 樋口入用 はまいば弥五左衛門
	426 文	同5升代 谷戸源太郎に拂 右同断
	200 文	下原吉兵衛作料
	200 文	はまいば弥五左衛門作料
	2貫228文	樋口入用 下原関右衛門酒代拂
	6ヶ文	燈心の代
酉の3月2日	10ヶ文	薪1把 斗井口へ遣す
	12ヶ文	車の眞木 阿多野吉兵衛
	116 文	酒1本 番神堂のお酒 正月11日の付落
口月1日	金1両	かね掘久四郎賃金内上げ
	150 文	すす竹 2丸
	38 文	燈しん 1束
口月より 3月1日まで	金1両	油や源三郎に渡す 3度に相渡す 通帳有
11月6日より 極月23日迄	米4斗7升	久四郎飯米 但し1日に黒米1升平均
極月1日より 23日迄	米2斗2升	七兵衛飯米 右同断
丙正月11日より 3月20日まで	米7斗8升	久四郎飯米 右同断
		飯米3口×1石4斗7升 俵に×3俵2斗7升 19表替ぜに4貫800文かへ 此代金1両3分と錢883文
4月19日	金2朱	吉久保かぢへ内上ヶに渡す
申の年	金1両1分と 錢900文	土引六兵衛給金仕着共に 但し飯米の義は堰へ不参加の刻は仁右衛門方にて 為働申候ニ付米代除申候
丙3月	金1両2朱	彦左衛門給金内上げに渡す
	100 文	ろうそく 4丁 小田原にて調る
5月20日	金2歩	喜兵衛給金内上げに渡す

図資-6 丙の壹番目録①（喜多家）

支払時期	支 払 額	支 払 内 容
6月1日	金1分	油3升5合 小田原にて調る
	135文	右の樽の代
	84文	燈眞の代
	500文	手ふと鍬1挺
7月7日	150文	代車4つ 塚原よし調
	100文	土みの代 棚頭村十兵衛拵
7月13日	金2分	油や源三郎打明ヶに渡す 通帳有り
7月16日	金1両と錢200文	かね掘七兵衛賃金打上げに両度に渡す
8月7日	金1分	土引彦左衛門給金内上げ
8月10日	金1分	かね掘久四郎給金内上げ
	金1分	喜兵衛給金内上げ
8月23日	金1両	用沢勘三郎へ油代内上ヶに渡す
申の年入用	64文	下原仁左衛門方帖面より付出す
申の極月	200文	かね掘七兵衛賃金内渡し 右同断
	金2歩	阿多野甚左衛門へ渡す 油代の由
	200文	油5合 はまいば半四郎に渡す
丙8月1日	金2分	吉久保かぢ内上ヶに渡す
9月1日	金1歩と錢1貫文	かね掘久四郎賃金皆済
	飯米	右久四郎 7月18日より8月30日迄
	"	かね掘七兵衛 4月1日より7月12日迄
	"	土引彦左衛門 丙2月11日より
	"	土引喜兵衛 丙5月14日より
	100文	ろうそく 4丁 2月買7月拂
	200文	車の眞木 18本 棚頭十兵衛もらい

壹番× 金14両1分2朱 錢11貫216文
 4×900文にて此金2両1分と188文
 金× 16両2分2朱と錢188文

丙ノ8月改

岩田三郎兵衛

喜多善七郎 殿
 森 江右衛門 殿

× モ

元禄16年11月23日(1703/12/31)に発生した元禄大地震(M7.9~8.5)の為、現棚頭工専台地法面を使用していた用水路(1328間≒2390m)が崩落してしまった。用水路復旧策として台地内に隧道を掘ることになった。

本資料は被災後5ヶ月目のものであり、復旧への取組みの速さが判る。

「吉久保鍛冶」は吉久保大附の渡辺正生氏(屋号かじや)の、又「油や源三郎」は谷戸湯山和行氏(屋号油屋)の先祖と思われる。

- ・土引車＝木製の一輪車、・土引＝土の運び出し、・車の眞木＝一輪車の車軸(堅木)
- ・かね掘＝鉋山の掘り手…小田原から呼寄せた伊豆・甲州の金鉋関連と思われる。

図資-7 丙の壹番目録②(喜多家)

阿多野堰掘抜間数覚帳

寶永貳¹⁷⁰⁵乙酉年八月

8月朔日～年末迄の担当別掘抜間数

●善七衆方堀前： 46間3尺7寸

●三郎兵衛方堀前： 62間3尺4寸

掘口	掘 抜 間 数	掘 抜 期 間	担 当 者
樋口から下流へ	53間半	酉7月晦日に報告済	
	2間2尺	～8月14日	善七良方百松
	瀬下げ	8月27日～9月5日	双方人足
	3間1尺5寸	～9月16日	善七抱与四兵衛
	5間1尺	9月17日～28日	三郎兵衛抱兵右衛門
	4間3尺	9月28日～10月8日	善七抱堀 10/9休
	5間1尺8寸	10月10日～27日	三郎兵衛抱兵右衛門 17日休
	4間3尺8寸	10月21日～30日	善七抱堀
	5間1尺	霜月2日～11日	三郎兵衛抱兵右衛門
	3間3尺	霜月12日～22日	善七抱堀
	4間1尺6寸	霜月23日～極月3日	三郎兵衛抱兵右衛門 朔日・8日休
	4間3尺	極月4日～14日	善七抱堀 8日休
	2間4尺6寸	極月15日～24日	三郎兵衛抱兵右衛門
	掘抜開始（月日不明）から年末までの掘抜間数： 103間4尺3寸		
	4間3寸	戌正月8日～22日	善七抱長兵衛 5日間休
	4間1尺8寸	3月16日より14日分	三郎兵衛抱伝兵衛
	1間3尺	3月11日より	善兵衛抱権兵衛
	4間1尺2寸	5月13日～22日	三郎兵衛抱与兵衛
	4間5尺4寸	5月23日～6月4日	三郎兵衛抱伝兵衛 25日休
	4間2尺5寸	6月5日～15日	三郎兵衛抱理兵衛
	1間3尺	9月14日～欠	欠 権兵衛
南沢から上流へ	86間	酉7月晦日に報告済	
	8間	～8月14日	三郎兵衛方久四郎 （内1尺7寸は勘兵衛）
	4間5尺	～27日	善七方勘兵衛
	6間2尺5寸	9月6日～16日	三郎兵衛抱兵右衛門
	4間5尺	9月17日～28日	善七抱堀
	5間4尺5寸	9月29日～10月8日	三郎兵衛抱兵右衛門 9日休
	4間4尺	10月10日～27日	善七抱堀
	5間3尺8寸	10月21日～30日	三郎兵衛抱兵右衛門
	3間4尺5寸	霜月2日～11日	善七抱堀
	4間2尺6寸	霜月12日～22日	三郎兵衛抱兵右衛門 15日休
	2間8尺	霜月23日～極月3日	善七抱堀 朔日・8日休
	4間5尺	極月4日～14日	三郎兵衛抱兵右衛門 9日休
	3間4尺	極月15日～24日	善七抱堀
	掘抜開始（月日不明）から年末までの掘抜間数： 58間5尺7寸		

図資-8 阿多野堰掘抜間数覚帳①（喜多家）

掘口	掘 抜 間 数	掘 抜 期 間	担 当 者
南沢から上流へ	4間2尺5寸	戌正月8日～22日	三郎兵衛抱理兵衛 4日間休
	1間4尺	3月16日	善七抱長兵衛
	5間5尺6寸	3月17日～28日	三郎兵衛抱理兵衛 25、26日休
	5間1尺7寸	3月29日～4月11日	三郎兵衛抱与兵衛 5日けだへ、9日休
	4間1尺8寸	4月12日～22日	三郎兵衛抱伝兵衛 けだへ1日
	5間1尺8寸	4月23日～5月12日	三郎兵衛抱理兵衛
	3間9寸	6月17日～29日	三郎兵衛抱与兵衛 20,26,27日休
	2間	7月1日～13日	三郎兵衛抱伝兵衛 4,7,10日けだへ、休
	2間2尺7寸	7月17日～28日	三郎兵衛抱理兵衛
	？間	7月29日～8月9日	三郎兵衛抱与兵衛
	2間	8月10日～25日	三郎兵衛抱伝兵衛
	2間1尺5寸	8月26日～9月6日	三郎兵衛抱理兵衛
	2間2尺8寸	9月7日～21日	三郎兵衛抱与兵衛 けだへ5日
	2間1尺	9月22日～10月7日	三郎兵衛抱伝兵衛 けだへ5日
	3間	10月8日～20日	三郎兵衛抱理兵衛 けだへ3日
	2間2尺5寸	10月21日～11月3日	三郎兵衛抱与兵衛 けだへ3日

メモ

隧道掘抜開始 18 ヶ月後以降の掘抜状況である。小田原の善七良及び三郎兵衛の2名が請け主になっている。日当たりの掘抜長さは、平均 70cm 余である。

図資-9 阿多野堰掘抜間数覚帳②（喜多家）